

各種検診メニュー

令和8年3月31日時点の年齢です

検診名	実施方法	対象年齢	自己負担額				
			40歳	41～59歳	60～69歳	70歳以上	
 特定健診	施設	40歳以上	500円		無料		無料
 肺がん検診	集団		無料		無料		
 胃がん検診	集団	バリウム			1,000 円		
	施設	バリウム			2,000 円 1,000 円		
		内視鏡			40歳・45歳・50歳以上の偶数年齢		
 大腸がん検診	施設	40歳以上			1,000 円		
 乳がん検診※ ¹	集団	40歳以上 偶数年齢の女性			1,000 円		
	施設	40～69歳※ ² 偶数年齢の女性					
 子宮頸がん検診※ ¹	施設	20歳以上 偶数年齢の女性	1,000 円(20歳は無料)				
 前立腺がん検診		50歳以上 5歳間隔の男性	—	1,000 円			
 肝炎ウイルス検査		—	1 度も受けたことがない方 無料				
 ピロリ菌検査		40歳	1,000円	—			

※1 奇数年齢でも令和6年度未受診であれば受診できます

※2 70歳以上の車椅子ご利用の方は、乳がん検診(施設)を受診できます

新潟市国民健康保険加入者

- がん検診の自己負担額は半額になります。
- 受診時は加入資格がわかるものをお持ちください。

65～74歳の後期高齢者医療制度加入者

- がん検診の自己負担額は無料になります。
- 受診時は加入資格がわかるものをお持ちください。

市民税非課税世帯の方

- 当該年度(確定するまでは前年度)、非課税世帯の方は無料券を交付します。
- 無料券は事前申請(受診の2週間前まで)が必要です。区役所健康福祉課に申請書を直接または郵送で提出してください。申請には本人確認書類が必要です。無料券は受診時にお持ちください。
- 世帯に未申告の方がいる場合は、区役所税担当窓口、市民税課で申告後、申請してください。認定には時間がかかる場合がありますのでご注意ください。
- 令和7年1月1日に新潟市に住民票がない方は、1月1日時点の市町村の課税証明書が必要です。

生活保護受給者・中国残留邦人の方

- 検診ごとに生活保護受給証明書が必要です。区役所保護担当課で事前に証明書の交付を受け、受診時にお持ちください。

加入資格がわかるもの

特定健診はP4の持ち物、
がん検診はP5の持ち物
(新潟市国民健康保険)を
参照ください。

お得です!



特定健診

問い合わせ先 新潟市保険年金課健康支援推進室
☎ 025-226-1075 FAX 025-226-4008

特定健診は、糖尿病や脂質異常症、高血圧症等の生活習慣病の原因となるメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた健診です。

自覚症状はなくても、健康状態を把握する良い機会ですので、年に1回特定健診をお受けください。

対象となる方

40歳以上の新潟市国民健康保険加入者、新潟県後期高齢者医療制度加入者、生活保護受給者等

※社会保険加入者の特定健診は加入している保険者が実施しますので、加入先の保険者へお問い合わせください。

※社会保険加入手続き中の場合は、上記の問い合わせ先へお問い合わせください。

※現在通院中の方も対象です。まずは主治医へご相談ください。

特定健診の検査内容

《基本的な健診》

全員に実施

身体測定	身長	肝機能	AST (GOT)
	体重		ALT (GPT)
	BMI		γ-GT
	腹囲※1	糖代謝	HbA1c
血圧	収縮期血圧		空腹時または随時血糖※2
	拡張期血圧	尿検査	糖・蛋白・潜血※2
脂質	空腹時または随時中性脂肪	腎機能	クレアチニン※2
	HDLコレステロール		eGFR※2
	LDLコレステロール	その他	血清尿酸※2
	総コレステロール※2		血清総蛋白※2

※1 後期高齢者健康診査は腹囲測定なし

※2 の検査は、国が定めた特定健診の基本的な健診以外の検査です。

《詳細な健診》

一定の基準に該当し、医師が必要と認めた場合実施

貧血検査
眼底検査
心電図検査※3

※3
心電図検査は、60歳以上で希望される方は、お受けいただけます。ただし、心疾患、高血圧等で治療中の方など医師から検査が必要ないと判断された方は除きます。

特定保健指導が無料でご利用できます

新潟市国民健康保険の方で、健診の結果、メタボリックシンドロームまたは予備群に該当した場合には、健診を受けた医療機関もしくは区役所から特定保健指導をご案内します。保健師・管理栄養士などが生活習慣の改善を支援しますので、ぜひご利用ください。

特定保健指導の対象とならなかった方で、保健師や栄養士などによる相談を希望される場合は、お住まいの区役所の健康福祉課へご連絡ください。

特定健診の受け方

1 受診機関を選ぶ

この冊子のP15～21の「委託医療機関名簿」から受診先を選びましょう。
予約が必要な場合もありますので事前に受診先へ電話でお問い合わせください。

2 受診する

【持ち物】①同封の「受診券」

②同封の「質問票」(あらかじめ記載のうえ、持参ください)

③加入資格がわかるもの

マイナ保険証※、資格確認書、有効期限内の健康保険証のいずれか
(生活保護受給者の場合は、生活保護受給証明書)

※マイナ保険証に対応していない医療機関では、マイナ保険証と併せて「資格情報のお知らせ」を持参ください。

【自己負担額】

新潟市国民健康保険 加入者	40～59歳	500円	新潟県後期高齢者 医療制度加入者	無 料
	60歳以上	無 料	生活保護受給者等	

※特定健診の検査項目以外を実施する場合は、別途料金がかかります。
詳しくは受診医療機関にご確認ください。

【受診前の注意】空腹時に採血することが望ましいです。予約の際、受診先にご確認ください。

3 結果説明を受ける

受診した医療機関等で健診の結果説明を受けます。

特定健診を受けていない方、健診結果から治療が必要な方で受診されていない方へハガキやお電話、訪問等で、受診のご案内をさせていただくことがあります。

人間ドックを受診される方へ

受診券を利用し受診する場合

人間ドックの検査項目のうち「特定健診」と同一項目の検査について受診券が利用できる医療機関があります。利用可能な医療機関については新潟市ホームページに掲載しています。ホームページをご覧になれない方は、各区役所健康福祉課健康増進係(裏表紙参照)または保険年金課(P3参照)へお問い合わせください。

予 約 時

医療機関へご予約の際に受診券が利用可能かご確認ください。人間ドックのコースによっては利用できない場合があります。

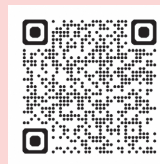
受診当日

「特定健診」の受診券を加入資格がわかるものと一緒にお持ちください。

注意事項

「特定健診」の受診券を利用した受診は年度内に1回のみです。
料金は人間ドック費用から受診券利用分を引いた金額となります。
受診券を利用せず人間ドックを受診した場合、受診券利用分の払い戻しはできません。

〈新潟市ホームページ〉
二次元コード



こちらからも詳細を
確認いただけます

受診券を利用せず受診する場合 — 新潟市国民健康保険加入者の方 —

「特定健診」の受診券を利用せず、人間ドックや職場健診を受診された場合は、健診結果(コピー)の提出にご協力ください。ご提出いただいた結果より、生活習慣病のリスクが高い場合には無料で特定保健指導をお受けいただけます。提出方法は、保険年金課(P3参照)へお問い合わせください。

※健診結果は、本人の健康管理を行うための保健指導や健診データの集約・分析以外の目的では使用しません。

がん検診(持ち物)

問い合わせ先 新潟市保健所健康増進課

☎ 025-212-8162 FAX 025-246-5671

持ち物

加入の健康保険により、受診時の持ち物が異なります。必ず確認をしてお持ちください。

新潟市国民健康保険

- ☐ 受診券
- ☐ 加入資格がわかるもの
マイナ保険証※、資格確認書、有効期限内の健康保険証のいずれか
※集団検診やマイナ保険証に対応していない医療機関は「資格情報のお知らせ」も必要
- ☐ 自己負担金

後期高齢者医療制度

- ☐ 受診券
- ☐ 本人確認書類
マイナンバーカード、運転免許証、有効期限内の健康保険証、資格確認書等のいずれか
- ★65～74歳の方は、加入資格がわかるものが必要
(新潟市国民健康保険を参照)

その他の保険

- ☐ 受診券
- ☐ 本人確認書類
- ☐ 自己負担金 (後期高齢者医療制度を参照)

生活保護受給者等

- ☐ 受診券
- ☐ 生活保護受給証明書

集団検診にお越しになる方へ

- ★ 乳がん検診は、バスタオル(カーディガンや上着も可)を必ずお持ちください。
- ★ 肺がん検診・胃がん検診は、**同封の「個人記録票」をご自宅で記入**してお持ちください。
服装は、無地のTシャツまたは、ファスナー等の金属やボタンのない服装でお越しください。
(上記の服装でない場合は、有料(200円)の検診着への着替えが必要です)

乳がん検診



女性限定

2年に1回

マンモグラフィ検査 (乳房X線撮影)

40歳代は2方向、50歳以上は1方向のみ撮影します。

※70歳以上の方は**集団検診**での受診となります。

集団検診

40歳以上の偶数年齢

施設検診

40歳～69歳(70歳以上の車いす利用者等)の偶数年齢

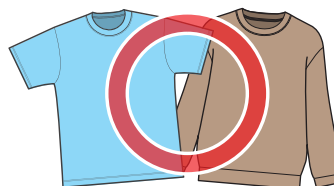
奇数年齢でも前年度未受診であれば受診可能です。

受診の前にお読みください

- ・乳房を圧迫して撮影するため、多少の痛みを伴います。生理前は乳房が張ることがありますので、避けることをおすすめします。
- ・制汗剤やパウダーなどをつけずに受診してください。パウダー等ががんのサインである石灰化に似て写ることがあります。

次の方は受診できません

- ・豊胸手術(ヒアルロン酸注入含む)を受けた方、妊娠中、授乳中の方、卒乳後6か月経過していない方
- ・ペースメーカー、VPシャント、皮下埋め込み型ポート、植込み型除細動器など医療機器が前胸部に入っている方
- ・乳がんの手術後10年以内の方



肺がん(結核)検診



1年に1回

胸部X線(レントゲン)撮影

検診車で撮影します。65歳以上の方は、結核検診が法律で定められています。

集団検診

40歳以上

受診の前にお読みください

- ・「肺がん(結核)検診個人記録票」に必要事項を記入し、当日お持ちください。
- ・個人的に医療機関等で受診する場合は有料となります。

次の方は受診できません

- ・胸部の疾患で受療中の方や経過観察中の方
- ・6か月以内にたんに血が混じったことがある方(医療機関を受診することをおすすめします。)
- ・現在妊娠中、または妊娠していると思われる方

対象となる方

40歳以上で、下記のいずれかに該当する方が対象です。

- 新潟市国民健康保険加入者
- 新潟県後期高齢者医療制度加入者
- 生活保護受給者等
- 職場や加入している健康保険でがん検診を受ける機会がない方

職場等で検診を受ける機会のある方や、費用の補助がある方は、市のがん検診を受けることはできません。勤務先や加入している健康保険の保険者へお問い合わせください。

胃がん検診

検査方法は2種類。
どちらかを選択して受診。

X線撮影(バリウム)検査

バリウム(造影剤)と発泡剤を飲み胃を膨らませて撮影します。

集団検診 40歳以上

施設検診 40歳、45歳、50歳以上

受診の前にお読みください

- ・ 集団検診を受診する際は、「胃がん検診個人記録票」裏面をお読みいただき、必要事項を記入して当日お持ちください。
- ・ 体重130kg以上の方は撮影装置の安全面上検査できない場合があります。
- ・ 高齢の方は、自覚症状がなくても誤嚥を起こすことがありますので、医療機関での検診をおすすめします。

胃内視鏡(胃カメラ)検査

胃内視鏡(胃カメラ)を挿入して観察します。

施設検診 40歳、45歳、50歳以上の偶数年齢

次の方は受診できません

【X線・内視鏡共通】

- ・ 胃を全摘した方
- ・ 妊娠中の方
- ・ 胃がんで内視鏡切除(ESD)を受けた方(5年間検診の対象外)
- ・ 胃がんや胃・十二指腸かいよう、ポリープ等で治療中の方

【X線のみ】

- ・ ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方
- ・ 検査当日を含め3日間(72時間)以上排便がない方(排便後に受診してください)
- ・ 腸閉塞になったことがある方
- ・ バリウムアレルギーの方
- ・ 1年以内に消化管、循環器、呼吸器、頭部などの手術や寝台で回転する(体の向きを変える)のに影響がある整形外科系などの手術をした方

【内視鏡のみ】

- ・ 抗血栓薬(ワーファリン等)服用中の方(少しの刺激でも粘膜から出血を起こす場合があります、止血に高度な技術が必要になるため)

ピロリ菌検査

対象年齢で1回のみ

血液検査

(胃内視鏡検査または特定健診と同時実施)

施設検診 40歳

次の方は受診できません

- ・ 胃の手術をした方(胃がんの内視鏡的治療も含む)
- ・ ピロリ菌の除菌療法を受けた方

新潟市
国民健康保険加入者
生活保護受給者等

社会保険
加入者

特定健診と
あわせて実施

新潟市胃がん検診
(胃内視鏡検査)と
同時実施

陽性だった場合は医療機関を受診し、除菌治療について相談してください。除菌が成功しても定期的な胃がん検診は必要です。

がん検診の受診可否について

問診の結果、体への影響を配慮し受診できない場合がありますのでご了承ください。

対象疾患で治療中・経過観察中の方は、その検診を受診できません。

自覚症状がある方は、医療機関での診療を受けてください。

大腸がん検診

1年に1回

便潜血検査(2日法)

便に潜む血液の有無を調べる検査(検便)を行います。

自宅で2日分の便を採取します。
2日分を検査することが重要です。

施設検診 40歳以上

子宮頸がん検診



女性限定

2年に1回

子宮頸部細胞診検査

子宮頸部の細胞を採取します。

施設検診 20歳以上の偶数年齢

次の方は受診できません

- ・ 子宮を全摘出した方
- ※状況により異なりますのでお問い合わせください。

奇数年齢でも前年度未受診であれば受診可能です。

前立腺がん検診



男性限定

5年に1回

血液検査(PSA検査)

血液中のPSA(前立腺特異抗原)の濃度を測定します。

施設検診 50歳以上の5歳間隔(50歳・55歳・60歳…)

肝炎ウイルス検査



1度も受けていない方

血液検査(B型肝炎およびC型肝炎)

血液中のウイルスの有無を検査します。

施設検診 1度も受けたことがない方